

## うぬぼれマーガレット

- 1 月明かりの夜のこと  
露が降りはじめたところに  
マーガレットがお城の上を往たり来たり  
お城の外をながめていました
- 2 東を見て 西を見て  
何か見えぬかとうかがっている  
勇敢な騎士が  
お城の門に近づきました
- 3 「立派な身分の者ではなさそうね  
おまえのブーツはダブダブなもの  
おまえは腕利きの獵師でしょう  
脇に角笛をぶら下げてるもの」
- 4 「腕利きの獵師などではありません  
獵師になる気もありません  
ぼくがお城にやってきたのは  
あなたの愛をかちとるため  
もしもそれがかなわなければ  
今宵 あなたの所為で死ぬでしょう」
- 5 「わたしのためにおまえが死んでも  
悲しむものはいませんよ  
大勢の立派な殿方が わたしの所為で死にました  
皆さんのお墓には 草が青々と繁っています
- 6 「わたしの謎が解けますか  
三つの問いに答えてごらん  
もしもそれができないならば  
大の字になって死ねばいい
- 7 「荒野か谷間に咲く  
最初の花はなんでしょう  
夕べの風に乗ってうたう  
かわいい小鳥はなんでしょう」
- 8 「荒野か谷間に咲く  
最初の花はサクラソウ  
夕べの風に乗ってうたう

かわいい小鳥は ウタツグミ」

9 「小さなコインがどれほどあれば  
わたしのお城の領地を買い取るでしょう  
小さなボートがどれほどあれば  
世界を一周回れるでしょう」

10 「だったら答えてごらん 小さなペニーが何枚で  
三千ポンドの三倍になるでしょう  
小さな魚が何匹で  
世界を一周泳げるでしょう」

11 「おまえはわたしに似つかわしそう  
結婚相手に十二分  
お父様の跡継ぎのわたしの愛をかちとつた  
おまえが最初の男です

12 「お父様は九つのお城の主<sup>あるじ</sup>  
お母様は三つのお城の主<sup>あるじ</sup>  
お父様には 九つもお城がありながら  
あとを継ぐのはわたしだけ

13 「そのお城全部のまわりを  
耕して 種をまくのです  
五月の十五番目の日は  
牧草地の草刈りの日です」

14 「おだまり マーガレット  
おまえは大うそついている  
おまえの父は九つのお城の主<sup>あるじ</sup>  
おまえの母は三つのお城の主<sup>あるじ</sup>  
おまえの父には確かに九つのお城があるが  
でも おまえが継ぐのは三つだけ

15 「そのお城全部のまわりを  
耕して 種はまけても  
五月の十五番目の日に  
牧草地の草刈りはとても無理

16 「ぼくは おまえの兄のウイリー  
おまえはぼくを知らないだろうが

おまえのうぬぼれを諫めにやってきた  
多くの者を死なせたうぬぼれを」

17

「もしも あなたがお兄様のウイリーなら  
きつと あなたはそうでしょう  
今夜は 食べるも飲むもやめにして  
お兄様について行きます」

18

「おだまり マーガレット  
またもおまえはうそをつく  
だって 手も足も洗わずに  
ぼくといっしょに墓に行けるはずがない

19

「小さな蛆虫が寢床の仲間  
冷たい土がぼくのシート  
嵐が吹き荒れるとき  
身を横たえて眠る場所」

(山中光義訳)